



新潟地本は4月20日、申10号・乗務員休憩室の環境整備に関する申し入れを提出しました。2021春闘で取り組んだ「2021春闘の取り組みアンケート」では、赤字下における企業活動について様々な視点からの意見を、新潟地本の全組合員から提出していただきました。

2021年1月25日付で運輸部より発出された「新潟支社管内乗務員休憩室の環境整備について」と題する文書によれば、乗務中の眠気を予防する環境の醸成として仮眠チェアを導入し、それに伴い各運輸区で自区・他区休憩室の統合・整備を行うとされています。

工事開始前から現場では不安の声が出されているにもかかわらず、その声にも関わらず、その声にも

■申10号 申し入れ項目
1. 乗務員休憩室の環境整備を行った経緯及び目的を明らかにすること。
2. 乗務員休憩室の畳を撤去した理由を明らかにすること。

2021年1月25日付で運輸部より発出された「新潟支社管内乗務員休憩室の環境整備について」と題する文書によれば、乗務中の眠気を予防する環境の醸成として仮眠チェアを導入し、それに伴い各運輸区で自区・他区休憩室の統合・整備を行うとされています。

■申9号 申し入れ項目
1. 酒田運輸区に間内改良を施工した経緯及び目的を明らかにすること。
2. 酒田運輸区に間内改良の方向性を明らかにすること。

現在酒田運輸区では間内改良工事が進行中です。酒田運輸区では一昨年より職場プロジェクトが立ち上げられ、公募で選ばれたメンバーが、働きやすさや働きがいを実現できる環境を社員の声から創り出すために取り組みを進めてきました。

■申8号 団体交渉
実感できる処遇改善のため社員の声を聞くことを求める

本部交渉団は、賃金改善等の申し入れに対する回答と同時に「新たなライフスタイルに対する総合的な処遇改善」を示した理由を質しました。

JRE MALIでの社

員向け割引商品の拡充が処遇改善である理由を質すと支社側は、アフターコロナを見据えた新たなビジネスモデルとして社員に利用してもらい、販売促進と顧客拡大につなげたいとして、特別価格で買物ができるところから生活面での応援・支援につながるのと考えを示しました。

昨年度の処遇改善の実施状況について経営側は、職場の間内改良や水回りの整備・改善を中心に優先順位をつけて計画額の45億円を各支社に予算配分したとしました。

交渉団は、以前よりも使い勝手が悪くなったという社員の声もあることから古いものを新しくすることがすべて正解ではなく、社員が改善を実感できないければ処遇改善ではないと指摘しました。

処遇改善を行うためには、携わる社員の声を聞くことが大切だと強く主張しました。

春闘アンケートの意見をもとに申し入れ提出 次の乗務に備えられる休憩室整備を求める

新潟地本は4月20日、申10号・乗務員休憩室の環境整備に関する申し入れを提出しました。2021春闘で取り組んだ「2021春闘の取り組みアンケート」では、赤字下における企業活動について様々な視点からの意見を、新潟地本の全組合員から提出していただきました。

その中でも「赤字決算が見込まれた中で実施する必要があるのか」「コロナ禍の中で密となるような環境となっているのではないか」など、特に意見が多かった乗務員休憩室の整備に関して、アンケートに寄せられた声をもとに申し入れを行いました。

酒田運輸区間内改良 社員の意見が反映された働きやすい環境の実現を

現在酒田運輸区では間内改良工事が進行中です。酒田運輸区では一昨年より職場プロジェクトが立ち上げられ、公募で選ばれたメンバーが、働きやすさや働きがいを実現できる環境を社員の声から創り出すために取り組みを進めてきました。

しかしプロジェクトで集約・検討した社員の声は間内改良に全く反映されていない現状に、あまりに一方的な実施であるとの声が寄せられています。

新潟地本は4月20日、申9号・酒田運輸区における間内改良に関する申し入れを提出しました。

本部申8号団体交渉 実感できる処遇改善のため社員の声を聞くことを求める

中央本部は4月19日、申第8号「2021年度処遇改善に関する申し入れ」の団体交渉を行いました。厳しい経営環境を労使共通の認識として、経営側が「新賃金回答」と同時に示した「処遇改善」の目的や内容、経費などを明らかにさせるとともに、処遇改善のあり方をめぐる議論を行いました。

団体交渉の日程決定!

申9号・申10号
酒田運輸区における
間内改良に関する申し入れ
乗務員休憩室の
環境整備に関する申し入れ

2021年5月20日(木)
9時30分より

団体交渉に向けて
職場からたたかいて
作りだそう!